

(様式例第1)

番号
令和 6 年 9 月 5 日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

住 所 千葉県鴨川市東町
申請者
氏 名 医療法人鉄蕉会
理事長 亀田 隆明

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒296-8602 千葉県鴨川市東町929番地
氏名	医療法人鉄蕉会 (理事長 亀田 隆明)

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

3 所在の場所

〒296-8602 千葉県鴨川市東町929番地	電話 (04) 7092 - 2211
----------------------------	-----------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
52 床	床	床	床	865 床	917 床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) ※別紙参照 病床数 47 床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置(2台)、全自動糖分析装置 自動グリコヘモグロビン分析計、全自動化学発光免疫測定装置 全自動免疫発光測定装置、生化学・免疫検査統合型検査装置
細菌検査室	(主な設備) 細菌同定・薬剤感受性検査パネル自動測定装置、質量分析装置 血液培養自動分析装置、抗酸菌培養自動分析装置
病理検査室	(主な設備) 自動染色装置、液状処理細胞診システム、自動封入装置 自動包埋装置、自動免疫染色装置
病理解剖室	(主な設備) ストライカー
研究室	(主な設備) 電子カルテシステム、PC 端末、プロジェクター、スクリーン ホワイトボード 他
講義室	室数 3 室 収容定員 200 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 1,000 冊程度 (雑誌 210 種類)
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) トヨタ：高規格救急車、日産：救急車 輸液ポンプ、輸注ポンプ、LIFE SCOPE P、レールガード サクションユニット、 オキシログ3000、cardiolife デファイブリータ、LIFE SCOPE i 保有台数 3 台
医薬品情報管理室	[共用室] 床面積 53.889 m ² 副作用情報センター、薬剤管理指導科と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

5 施設の構造設備

集中治療室 (主な設備)	MFICU (6床)	救急蘇生装置 除細動器 心電計 呼吸循環監視装置 新生児用人工換気装置 微量輸液装置 分娩監視装置 超音波診断装置
	NICU (9床) GCU (18床)	救急蘇生装置 呼吸循環監視装置 新生児用人工換気装置 経皮的酸素分圧監視装置 経皮的酸素飽和度測定装置 酸素濃度測定装置 光線療法器 微量輸液装置 超音波診断装置
	ICU (14床)	救急蘇生装置 除細動器 ペースメーカー 心電計 ポータブルエックス線撮影装置 呼吸循環監視装置 人工呼吸装置 微量輸液装置 超音波診断装置

(様式例第2) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	56.9 %	算定 期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日
地域医療支援病院 逆紹介率	90.7 %		
算出 根拠	A : 紹介患者の数		1, 9 0 3 人
	B : 初診患者の数		3, 3 4 5 人
	C : 逆紹介患者の数		3, 0 3 5 人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏 名	勤務の態様		勤務時間	備考
		※別紙参照	常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	3 4 床
専用病床	3 4 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤務時間	備 考
1	医師		常勤・専従	40時間	
2	医師		常勤・専従	40時間	
3	医師		常勤・専従	40時間	
4	医師		常勤・専従	40時間	
5	医師		常勤・専従	40時間	
6	医師		常勤・専従	40時間	
7	医師		常勤・専従	40時間	
8	医師		常勤・専従	40時間	
9	医師		常勤・専従	40時間	
10	医師		常勤・専従	40時間	
11	医師		常勤・専従	40時間	
12	医師		常勤・専従	40時間	
13	医師		常勤・専従	40時間	
14	医師		常勤・専従	40時間	
15	看護師		常勤・専従	40時間	
16	看護師		常勤・専従	40時間	
17	看護師		常勤・専従	40時間	
18	看護師		常勤・専従	40時間	
19	看護師		常勤・専従	40時間	
20	看護師		常勤・専従	40時間	
21	看護師		常勤・専従	40時間	
22	看護師		常勤・専従	40時間	
23	看護師		常勤・専従	40時間	
24	看護師		常勤・専従	40時間	
25	看護師		常勤・専従	40時間	
26	看護師		常勤・専従	40時間	
27	看護師		常勤・専従	40時間	
28	看護師		常勤・専従	40時間	
29	看護師		常勤・専従	40時間	
30	看護師		常勤・専従	40時間	
31	看護師		常勤・専従	40時間	
32	看護師		常勤・専従	40時間	
33	看護師		常勤・専従	40時間	
34	看護師		常勤・専従	40時間	
35	看護師		常勤・専従	40時間	
36	看護師		常勤・専従	40時間	
37	看護師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤務時間	備 考
38	看護師		常勤・専従	40時間	
39	看護師		常勤・専従	40時間	
40	看護師		常勤・専従	40時間	
41	看護師		常勤・専従	40時間	
42	看護師		常勤・専従	40時間	
43	看護師		常勤・専従	40時間	
44	看護師		常勤・専従	40時間	
45	看護師		常勤・専従	40時間	
46	看護師		常勤・専従	40時間	
47	看護師		常勤・専従	40時間	
48	看護師		常勤・専従	40時間	
49	看護師		常勤・専従	40時間	
50	看護師		常勤・専従	40時間	
51	看護師		常勤・専従	40時間	
52	看護師		常勤・専従	40時間	
53	看護師		常勤・専従	40時間	
54	看護師		常勤・専従	40時間	
55	看護師		常勤・専従	40時間	
56	看護師		常勤・専従	40時間	
57	看護師		常勤・専従	40時間	
58	看護師		常勤・専従	40時間	
59	看護師		常勤・専従	40時間	
60	看護師		常勤・専従	40時間	
61	看護師		常勤・専従	40時間	
62	看護師		常勤・専従	40時間	
63	看護師		常勤・専従	40時間	
64	看護師		常勤・専従	40時間	
65	看護師		常勤・専従	40時間	
66	看護師		常勤・専従	40時間	
67	看護師		常勤・専従	40時間	
68	看護師		常勤・専従	40時間	
69	看護師		常勤・専従	40時間	
70	看護師		常勤・専従	40時間	
71	看護師		常勤・専従	40時間	
72	看護師		常勤・専従	40時間	
73	看護師		常勤・専従	40時間	
74	看護師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤務時間	備 考
75	看護師		常勤・専従	40時間	
76	看護師		常勤・専従	40時間	
77	看護師		常勤・専従	40時間	
78	看護師		常勤・専従	40時間	
79	看護師		常勤・専従	40時間	
80	看護師		常勤・専従	40時間	
81	看護師		常勤・専従	40時間	
82	看護師		常勤・専従	40時間	
83	看護師		常勤・専従	40時間	
84	看護師		常勤・専従	40時間	
85	看護師		常勤・専従	40時間	
86	看護師		常勤・専従	40時間	
87	看護師		常勤・専従	40時間	
88	看護師		常勤・専従	40時間	
89	看護師		常勤・専従	40時間	
90	看護師		常勤・専従	40時間	
91	看護師		常勤・専従	40時間	
92	看護師		常勤・専従	40時間	
93	看護師		常勤・専従	40時間	
94	看護師		常勤・専従	40時間	
95	看護師		常勤・専従	40時間	
96	看護師		常勤・専従	40時間	
97	看護師		常勤・専従	40時間	
98	看護師		常勤・専従	40時間	
99	看護師		常勤・専従	40時間	
100	看護師		常勤・専従	40時間	
101	看護師		常勤・専従	40時間	
102	看護師		常勤・専従	40時間	
103	看護師		常勤・専従	40時間	
104	看護師		常勤・専従	40時間	
105	看護師		常勤・専従	40時間	
106	看護師		常勤・専従	40時間	
107	看護師		常勤・専従	40時間	
108	看護師		常勤・専従	40時間	
109	看護師		常勤・専従	40時間	
110	看護師		常勤・専従	40時間	
111	看護師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤務時間	備 考
112	看護師		常勤・専従	40時間	
113	看護師		常勤・専従	40時間	
114	看護師		常勤・専従	40時間	
115	看護師		常勤・専従	40時間	
116	看護師		常勤・専従	40時間	
117	看護師		常勤・専従	40時間	
118	看護師		常勤・専従	40時間	
119	看護師		常勤・専従	40時間	
120	看護師		常勤・専従	40時間	
121	看護師		常勤・専従	40時間	
122	看護師		常勤・専従	40時間	
123	看護師		常勤・専従	40時間	
124	看護師		常勤・専従	40時間	
125	看護師		常勤・専従	40時間	
126	看護師		常勤・専従	40時間	
127	看護師		常勤・専従	40時間	
128	看護師		常勤・専従	40時間	
129	看護師		常勤・専従	40時間	
130	看護補助者		常勤・専従	40時間	
131	看護補助者		常勤・専従	40時間	
132	看護補助者		常勤・専従	40時間	
133	看護補助者		常勤・専従	40時間	
134	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
135	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
136	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
137	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
138	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
139	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
140	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
141	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
142	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
143	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
144	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
145	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
146	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
147	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
148	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤務時間	備 考
149	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
150	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
151	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
152	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
153	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
154	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
155	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
156	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
157	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
158	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
159	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
160	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
161	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
162	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
163	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
164	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
165	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
166	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
167	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
168	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
169	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
170	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
171	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
172	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
173	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
174	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
175	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
176	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
177	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
178	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
179	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
180	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
181	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
182	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
183	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
184	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
185	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤務時間	備 考
186	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
187	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
188	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
189	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
190	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
191	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
192	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
193	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
194	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
195	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
196	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
197	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
198	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
199	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
200	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
201	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
202	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
203	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
204	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
205	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
206	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
207	臨床検査技師		常勤・専従	40時間	
208	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
209	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
210	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
211	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
212	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
213	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
214	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
215	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
216	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
217	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
218	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
219	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
220	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
221	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
222	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	

(様式例第3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤務時間	備 考
223	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
224	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
225	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
226	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
227	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
228	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
229	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
230	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
231	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
232	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
233	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
234	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	
235	診療放射線技師		常勤・専従	40時間	

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
※別紙参照	m ²	(主な設備)	
	m ²	(主な設備)	
	m ²	(主な設備)	
	m ²	(主な設備)	
	m ²	(主な設備)	

4 備考

- ・昭和60年2月1日に第3次救命救急センターの認定を受け、同年3月1日より運営を開始し、現在に至る。
- ・救命救急センター運営事業及び小児救急医療拠点病院運営事業を実施。

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,540人 (2,848人)
上記以外の救急患者の数	17,365人 (632人)
合計	21,905人 (3,480人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	3台
---------------	----

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター (1階・2階)	2683.35 m ²	(主な設備) 診察室 観察室 処置室 一般撮影室 … X線撮影装置 CT撮影室 … CT撮影装置	可
画像センター	1306.48 m ²	(主な設備) 胸部撮影室 … X線撮影装置 一般撮影室1 … X線撮影装置 一般撮影室2 … X線撮影装置 第一心臓血管撮影室 … 血管撮影装置 第二心臓血管撮影室 … 血管撮影装置 血管撮影室 … 血管撮影装置 血管内治療室 … 血管撮影装置 MDCT室 … CT撮影装置 ADCT室 … CT撮影装置 K10CT室 … CT撮影装置 MRI撮影室(18番) … MRI撮影装置 MRI撮影室(19番) … MRI撮影装置 X線TV室 … X線TV装置 体外計測室1(RI室) … デジタルガンマカメラ 体外計測室2(RI室) … デジタルガンマカメラ ハイブリッドオペ室 … 血管撮影装置(ハイブリッド装置)	可
内視鏡センター	552.72 m ²	(主な設備) ES-1 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 生体情報モニタ 超音波観測装置 動画記録装置 ES-2 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 手術用高周波装置 生体情報モニタ ES-5 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 手術用高周波装置 生体情報モニタ 超音波観測装置 ES-6 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 手術用高周波装置 生体情報モニタ BD録画機 全身麻酔用配管 麻酔器 X線TV室1 … ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 手術用高周波装置 生体情報モニタ X線透視装置 全身麻酔用配管 超音波観測装置 胆管・膵管鏡システム 動画記録装置	可

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

		X線TV室2 …ビデオシステムセンター 光源装置 各種内視鏡 生体情報モニター 汎用冷凍手術ユニット PDLレーザー装置 X線透視装置 超音波観測装置	可
中央検査室	49.94 m ²	(主な設備) 生化学自動分析装置 血液ガス・電解質分析装置 自動血球算定装置 全自動血液凝固測定装置 尿自動分析装置 全自動科学発光免疫測定装置	可

(様式例第4) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

他医療機関からの紹介入院は多々あるものの、時間の有効利用の面から開放病床等の共同利用には繋がっておりません。

※別紙参照

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

(共同利用可能設備)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ・救急外来診療施設及び医療機器 | ・旧2号館1階研修室・講義室及び設置備品器具 |
| ・画像診断装置各種 | ・Kタワー12階 会議室 |
| ・手術室及び手術用機器等 | ・Kタワー13階 多目的ホール |
| ・検査機器各種 | ・Kタワー5階 CSSセンター |
| ・リハビリテーション室 | ・A棟9階 会議室 |

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ☐ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名: XXXXXXXXXX

職 種: 地域医療支援

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
※別紙参照				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	30 床
--------------	------

1 共同利用の実績 2023年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内視鏡	8	4	6	5	16	11	10	10	10	10	16	13	119
CT	7	9	10	8	14	15	10	7	10	13	9	24	136
MR	18	15	12	13	18	17	16	16	13	10	13	15	176
PET検査	8	3	5	1	3	8	11	3	11	10	8	3	74
エコー	1	0	0	1	0	1	2	1	1	1	9	3	20
シンチ	2	3	2	0	1	5	0	1	3	2	1	3	23
総数	44	34	35	28	52	57	49	38	48	46	56	61	548

開放型病院覚書

覚 書

社団法人安房医師会（以下「甲」という。）と医療法人鉄蕉会亀田総合病院（以下「乙」という。）は、地域医療機関との有機的連携を図り、医療の進歩に対応した地域医療の向上に資するため、次のとおり覚書を取り交わすものとする。

（開放型病床の設置）

1 条 乙はその施設内に開放型病床として10床を設置するものとする。

（登録医）

2 条 開放型病床を利用出来る医師は、回診のために来院可能な医師で、甲が推薦し乙に登録したものとする。

（開放型病床の運営）

3 条 開放型病床の運営は、概ね次のとおりとする。

（1）登録医は、開放型病床における入院患者の主治医となるものとする。

（2）開放型病床における入院患者の入院期間は、原則として1ヶ月をこえないものとする。

（3）開放型病床の看護管理は、亀田総合病院看護部長が総括するものとする。

（医療機器の共同利用）

4 条 登録医は、乙の諸規定の定めるところに従い、医療機器を共同利用することができるものとする。

（共同研修）

5 条 登録医は、乙における研究会等に乙の医師とともに参加することができるものとする。

（診療責任）

6 条 登録医・担当医は、法令の定めるところに従い責任をもって診療にあたるものとする。

（賠償責任）

7 条 登録医は、乙において診療業務に従事した際、受診者から損害賠償請求の訴えを提起された場合には、登録医・担当医両者が全面的に協力するものとし、いずれかが賠償責任を負担しなければならない場合には、両者に故意又は重大な過失がない限り、乙においてその損失を全額填補するものとする。

(開放型病床運営委員会)

8条 前2条に掲げる業務の円滑な運営を期するため、開放型病床運営委員会を設置するものとし、その構成などは甲乙協議し決定するものとする。

(顧問)

9条 乙は、本覚書に掲げる業務の円滑な運用を図るため、甲の推薦を受けて、乙に顧問を若干名をおくものとする。

(協議)

10条 前各項目以外の事項については、甲乙協議して定めるものとする。

平成9年 6月10日

社団法人 安房医師会
会 長

医療法人 鉄蕉会
亀田総合病院
理 事 長

亀 田 俊

覚 書

(開放病床数の変更)

社団法人 安房医師会（以下「甲」という）と、医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院（以下「乙」という）の間で平成9年6月10日付で取り交わした「開放型病院覚書」について下記のように一部変更するものとする。

記

変更部分

- ・ 変更前：1条 乙はその施設内に開放型病床として10床を設置するものとする。
- ・ 変更後：1条 乙はその施設内に開放型病床として30床を設置するものとする。

変更理由

- ・ 開放型病床設置にあたり届出前30日間の実績を集計した結果、開放病床10床では利用率が100%を超えてしまい開放病床を利用できないケースが発生する可能性があるため、開放病床を30床として有効に利用できるよう改善を図るため。

平成9年8月 日

社団法人 安房医師会
会 長

医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院
理 事 長 亀 田 俊

亀田総合病院運営規定

第1章 総 則

第1条 亀田総合病院（以下、本病院という）は、社団医療法人鉄蕉会（以下、鉄蕉会）がその事業の一環として開設する。

第2条 本病院の所在地は千葉県鴨川市東町929番地とする。

第3条 本規定は、本病院の運営管理にかかわる概要を示すものである。

第4条 本病院は、鉄蕉会が運営管理を行い科学的で且つ適正な医療を普及することを目的とする。又、その目的のため以下の業務を行う。

- ① 医療及び医療施設の高度化ならびに近代化の促進。
- ② 医療従事者の教育研修。
- ③ 臨床研究会の設置及び運営。
- ④ 産業医・学校医検診業務の受託。
- ⑤ 地域医療機関との施設共同利用。
- ⑥ 救命救急医療の促進。
- ⑦ その他

第2章 運営管理

第5条 本病院は、鉄蕉会理事長が代表して管理運営を総括する。

2. 本病院の院長（以下、院長という）は、鉄蕉会理事長（以下、理事長という）の命を受け本病院の管理運営にあたる。

3. 本病院の副院長（以下、副院長という）は、院長を補佐し院長の命により1名は診療部門の統括管理を行い、1名は事務部門の統括管理を行う。

第6条 本病院には病院運営委員会（以下、運営委員会）を置く。

2. 本条第1項に定める運営委員会は鉄蕉会理事会（以下、理事会という）に置く。

3. 運営委員会の構成は、以下のとおりとする。

理事長、院長、副院長及び理事長の任命する鉄蕉会役員の若干名とし、委員の任期は2年とする。

第7条 本病院の院長及び副院長は、理事長が理事会に諮り選任する。

第3章 職 位

第8条 本病院の組織構成は理事会で決定し、診療部門、薬剤部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各役職位は院長が任命する。

2. 本条第1項に定める診療部門には次の職位を設ける。

主任部長、部長、医長とし必要に応じ各職位に副職及び代行職並びに代理職を置く。

3. 本条第1項に定める薬剤部門には、次の職位を設ける。

薬剤管理部長、室長、主任とし必要に応じ各職に副職及び代行職並びに代理職を置く。

4. 本条第1項に定める看護部門には、次の職位を設ける。

看護管理部長、管理師長、師長、主任とし必要に応じ各職に副職及び代行職並びに代理職を置く。

5. 本条第1項に定める医療技術部門には、次の職位を設ける。

医療技術管理部長、室長、主任とし必要に応じ各職に副職及び代行職並びに代理職を置く。

6. 本条第1項に定める事務部門には、次の職位を設ける。

部長、課長、係長、室長とし必要に応じ各職位に副職及び代行職並びに代理職を置く。

第9条 第8条に定める各職位の職務分掌は別に定める。

第10条 本病院の給与及び福利厚生は別表に規定する。

第4章 会 議・委員会

第11条 本病院はその運営にあたり、診療部門、薬剤部門、看護部門、医療技術部門、事務部門にそれぞれ必要な会議及び委員会を置く。

2. 本条1項の規定する会議及び委員会は別に定める。

第12条 本病院で次の事項を決議する場合は、理事会の承認を得なければならない。

- ① 基本財産の設定及び処分
- ② 予算及び決算
- ③ 運営規定の変更

- ④ 本病院の解散
- ⑤ その他特に重要な事項

第 13 条 第 11 条に規定する会議及び委員会は、第 12 条に定める以外の全ての事項を決議する。

2. 会議及び委員会は、事務局及び委員長がそれを招集して定例会議を行う。
3. 会議及び委員会は必要に応じて諮問委員会を設置し、その答申を求めることができる。
4. 会議及び委員会は、各会議及び委員会の運営規定に定める出席者数をもって開催し、議決は過半数以上を以って決するものとする。

第 14 条 診療部門、薬剤部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門は、部門長を議長とし定期的に会議を行い各部門の活性化を図る。

2. 各部門に所属する各部門は、所属長を議長とし業務連絡会を開催し、業務上の問題を部門長へ提言することができる。

第 15 条 本病院の院長は、運営の円滑化と各部門の連携を強化するため、各部門の部門長及び所属長を招集し病院内連絡会を開催する。

第 5 章 権限の委譲

第 16 条 代決、専決、権限の委譲、特に各会議及び各委員会の下部運営機関の長への委譲は、運営細則を設けて別に定める。

第 6 章 資産及び会計

第 17 条 本病院の資産及び会計は、鉄蕉会定款第 4 章の資産及び会計に準ずる。

第 7 章 別規定及び規定

第 18 条 本規定に基づく、運営細則並びに別規定は、理事会の決議を経て本病院の院長がそれを定める。

第 8 章 解 散

第 19 条 本病院を解散した時は、鉄蕉会理事がその精算人となる。但し、理事会の決議により、理事以外からこれを選出することができる。

4 登録医療機関の名簿

	医療機関名	院長名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
1	石川外科内科クリニック		鴨川市横渚1056-3	内・外・胃・整リハ・小・小外	無
2	伊藤胃腸科クリニック		鴨川市横渚697	胃・外・内・肛	無
3	エビハラ病院		鴨川市太海630	内・リハ	無
4	小田病院		鴨川市横渚880	内・胃・小・整・皮・リハ・外	無
5	鴨川市立国保病院		鴨川市宮山233	内・小・外・歯・整	無
6	東条病院		鴨川市広場1615	内・消・循・外・呼・放・小・整・泌・皮・リハ	無
7	東条メンタルホスピタル		鴨川市広場1338	精・神	無
8	真木クリニック		鴨川市西江見131	内・心療・精・神内・小	無
9	青木内科クリニック		南房総市安馬谷2071	内・小・産・婦	無
10	石井クリニック		南房総市白子2131	内・外・リハ・美容皮膚科	無
11	生方内科クリニック		南房総市富浦町原岡137-1	内・外・小・整・リハ・皮・放	無
12	白浜中央医院		南房総市白浜町白浜2887-1	内・小・リハ	無
13	中原病院		南房総市和田町仁我浦19-1	内・小・整・美・耳・消化器内科・リハ・泌	無
14	七浦診療所		南房総市千倉町大川912-2	内・神内・老年内科・整	無
15	花の谷クリニック		南房総市千倉町白子2446	内・心療・精	無
16	原診療所		南房総市富浦町原岡228-1	内・泌	無
17	松永医院		南房総市千倉町平館717	内・外・小・皮・リハ	無
18	間宮医院		南房総市和田町仁我浦123	内・小	無
19	南房総市立富山国保病院		南房総市平久里中1410-1	内・呼・消・外・整・肛・リハ	無
20	南房総ファミリアクリニック		南房総市本織43-1	内・整・小・皮・眼	無
21	三芳病院		南房総市本織47	精・神内・内	無
22	青柳内科クリニック		館山市高井177-2	内・糖尿病内科(代謝内科)	無
23	赤門整形外科内科		館山市沼1619	内・外・小・整・リハ	無
24	清川医院		館山市北条1548	内・小・美容皮膚科・産・婦	無
25	九重鈴木医院		館山市藺字平池168-1	内・外・小・胃・肛・リハ	無
26	小林病院		館山市船方909	内・消化器内科・整・リハ	無
27	佐伯医院		千葉県館山市北条2308-7	眼	無
28	ぞうさん耳鼻咽喉科クリニック		館山市北条1355-40	耳	無
29	たてやま友愛クリニック		館山市北条1715	内・外・小	無
30	田村病院		館山市館山183	精・心療・内	無

4 登録医療機関の名簿

	医療機関名	院長名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
31	西岬診療所		館山市早野28	内・循・小	無
32	野原皮膚科内科医院		館山市北条1888	内・小・皮	無
33	原クリニック		館山市長須賀515	内・泌	無
34	平野眼科		館山市船形443	眼	無
35	北条クリニック		館山市北条1096-1	内	無
36	北条病院		館山市北条1089	内・循環器内科	無
37	館南町国民健康保険館南病院		安房郡館南町保田359	内・神内・消・小・外・整・皮泌・眼	無
38	館南やまだ内科医院		安房郡館南町保田28-1	内・神内	無
39	越後貢医院		勝浦市壘名672	内・消化器内科・皮	無
40	南洲会勝浦クリニック		勝浦市壘名485-252	内・リウ・整・リハ	無
41	川上医院		勝浦市興津147	内・消・外	無
42	塩田病院		勝浦市出水1221	内・精・神内・ア・リウ・小・外・整・脳・皮・泌・婦・眼・耳・リハ・放・麻・消化器内科・消化器外科・肛門外科・循環器内科・呼吸器内科・心臓血管外科	無
43	大多喜病院		夷隅郡大多喜町上原786	内・精・神・耳・リハ	無
44	小高外科内科		夷隅郡大多喜町大多喜62	外・内・呼・消・循・小・放	無
45	川崎病院		夷隅郡大多喜町泉水874	内・呼・消・循・リウ・小・外・整・小外・皮・泌・リハ	無
46	千代田健康開発事業団付属診療所		夷隅郡御宿町御宿台132	内・眼	無
47	いすみ医療センター		いすみ市苅谷1177	内・消・小・外・整・脳・皮・泌・婦・眼・耳・リハ・放・歯・神内	無
48	大原医院		いすみ市大原8773	内・小・外・脳・放	無
49	大原台クリニック		いすみ市大原台424-4	内・脳・小・外	無
50	土屋外科内科医院		いすみ市大原8582	内・外・皮・泌・放	無
51	永津さいとう医院		いすみ市岬町江場土1732	内	無
52	ひあり内科医院		いすみ市日在1947-10	内・神内・小・リハ	無
53	岬病院		いすみ市岬町桑田2531	内・リハ	無
54	前田記念 大原クリニック		いすみ市大原1937-2	内	無
55	山本医院		いすみ市岬町東中滝719-3	内・小	無
56	吉田外科内科		いすみ市岬町	内・外・消化器内科・整・皮・泌・美容皮膚科	無
57	塩田記念病院		長生郡長柄町国府里550-2	脳・外・内・リハ・放・耳・整・脳神経内科・呼吸器内科・循環器内科・婦・泌・麻・ペインクリニック内科・救急科	無
58	聖光会病院		長生郡長柄町立烏745-1	内・神内・胃・リハ・整	無

4 登録医療機関の名簿

	医療機関名	院長名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
59	長島医院		長生郡一宮町一宮2551-6	内・胃・外・肛・リハ	無
60	茂原中央病院		茂原市下永吉796	内・外・整・神内・皮・リハ・泌・心療	無
61	山之内病院		茂原市町保3	内・神内・呼・循・ア・リウ・小・外・整・泌・婦・リハ・糖尿内科・眼・消化器内科・腎臓内科	無
62	鈴木病院		君津市上238	内・胃・外・皮・リハ・乳腺外科・肛門外科	無
63	まえだクリニック		千葉県君津市浦田2-1	内・小	無
64	コンフォート君津クリニック		千葉県木更津市畑沢南6-26-3	内	無
65	重城病院		千葉県木更津市万石341-1	内・胃・循・外・整・肛・皮	無
66	鈴木内科クリニック		千葉県富津市長崎331-3	内・皮・リハ・腎臓内科・糖尿病内科・人工透析内科	無
67	原田内科小児科医院		千葉県富津市湊497-5	内・神・消・小・放	無
68	袖ヶ浦さつき台病院		千葉県袖ヶ浦市長浦駅前5-21	内・心療・精・神・神内・外・整・脳・皮・眼・耳・リハ	無
69	さんむ医療センター		千葉県山武市成東1326	内・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・外・小・整・脳・耳・眼・泌・皮・小外・麻・歯口・リハ・産婦	無
70	湘南台プレストクリニック		神奈川県藤沢市湘南台1-1-6	乳腺外科	無
71	とうごう歯科口腔外科医院		千葉県香取市小見川592	歯	無
72	みるみる内科と在宅クリニック		千葉県木更津市清見台南5-1-4	内	無
73	よこすか内科小児科・はるこレディースクリニック		千葉県木更津市金田東6-47-21	内・婦・小	無
74	帝京大学ちば総合医療センター		市原市姉崎3426-3	循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・腎臓内科・内分泌内科・脳神経内科・リウマチ内科・外・小・整・脳外・耳・眼・泌・皮・小・麻・歯口・リハ・産婦・形成・放	無
75	千葉県循環器病センター		市原市鶴舞575	脳外・心外・外・小児・循環器内科・呼吸器内科・脳神内科・整・耳・眼・皮・てんかん	無
76	難波メディカルクリニック		東京都大田区下丸子2-13-4	内科・脳神内科・小児・リウマチ膠原病	無

(様式例第5) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1. 研修の内容

①死亡症例検討会	⑧がん看護勉強会
②講演・学術講演会	⑨緩和ケア研修会
③臨床・神経病理ジョイントカンファレンス	⑩終末期看護研修会
④看護教育研修	⑪講演会(がん)
⑤地域リハビリテーション支援推進研修会	※別紙参照
⑥高次脳機能障害支援普及事業研修会	
⑦感染教育学術講演会	

2. 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	105 回
(2) (1) の合計研修者数	1,781 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3. 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ☒ 有 ☐ 無
 イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有 ☐ 無
 ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	小児外科	部長/ 卒後研修センター長	20 年	卒後教育委員長
	歯科医師		継続学習センター長 ／歯科センター セン ター長補佐／研究研 修部 部長	40 年	
	医師	総合内科		40 年	非常勤
	医師	在宅診療科	部長/ 地域医療支援部 部長	30 年	
	看護師	看護部		35 年	応急手当講座講師

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

令和5年度 地域医療従事者に対する研修・講習状況

死亡症例検討会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
①	4月26日	医師	肺結核の治療開始2週間後、突然ショック状態となり急変された80歳男性の一例	48 名
	5月31日	医師	HIV治療中に進行性のCKDをみとめ、突然の急性肝不全で入院後1週間で死亡した70歳男性の一例	51 名
	6月28日	医師	胚細胞腫瘍に対して大規模の化学療法を行うも、急速な経過で他界された40歳台男性の一例	58 名
	7月26日	医師	慢性活動性EBV感染症に対する同種移植後、急速な経過で腎不全となり、高いされた50歳台女性の一例	48 名
	8月30日	医師	人工弁感染に対する抗菌薬治療2ヶ月後、菌血症から全身状態が悪化し、他界された70歳台男性の一例	41 名
	9月27日	医師	原因不明の連鎖球菌菌血症に対する治療中、突然の吐血から急変された70歳台男性の一例	53 名
	11月29日	医師	急性骨髄性白血病に対する骨髄移植3ヶ月後、消化管出血と肝不全のため他界された60歳台男性の一例	38 名
	1月31日	医師	慢性経過の下痢から膵頭部腫瘍の診断となり、化学療法を継続していたが下痢のコントロールがつかずに他界に至った40歳台男性の一例	42 名
	2月28日	医師	白血球増多を伴う肺腫瘍で受診され、5ヵ月程度の経過で他界に至った60歳台男性の一例	45 名

小 計 424 名

講演・学術講演会：ウェブ開催含む

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
②	4月12日	全職員	【第1回整形外科講演会】重度四肢外傷とは	98 名
	4月20日	全職員	【乳腺科講演会】	- 名
	4月26日	全職員	【乳腺科講演会】UPP Area Web Seminar：関東エリア	- 名
	5月18日	全職員	【呼吸器内科講演会】がんトータルケアWebセミナー	- 名
	5月18日	全職員	【血液・腫瘍内科講演会】Lymphoma update seminar	- 名
	6月1日	全職員	【乳腺科講演会】	- 名
	6月7日	全職員	【疼痛・緩和ケア科講演会】	- 名
	6月15日	全職員	【乳腺科講演会】	- 名
	6月22日	全職員	【乳腺科講演会】乳がん AEマネジメントフォーラム	- 名
	6月22日	全職員	【呼吸器内科講演会】	- 名
	6月30日	全職員	【心療内科・精神科講演会】第22回安房精神科懇話会	- 名
	7月3日	全職員	【脳神経内科講演会】	- 名
	7月6日	全職員	【呼吸器内科講演会】Respiratory Seminar	- 名
	7月13日	全職員	【脳神経内科講演会】	- 名
	7月18日	全職員	【脳神経内科・脳血管外科講演会】	- 名
	7月18日	全職員	【血液・腫瘍内科講演会】	- 名
	7月20日	全職員	【糖尿病内分泌内科講演会】Forxiga Forum～患者 Well-being と SGLT-2 阻害薬の適正使用推進のために～	- 名
	7月27日	全職員	【脳神経内科講演会】	- 名
	7月28日	全職員	【循環器内科講演会】	- 名
	8月7日	全職員	【腎臓高血圧内科講演会】	- 名
	8月24日	全職員	【麻酔科講演会】Pain Live Symposium	- 名
	9月14日	全職員	【乳腺科講演会】Meet The Expert in 房総	- 名
	9月27日	全職員	【脳神経内科講演会】	- 名
	9月29日	全職員	【救命救急科講演会】	37 名
	10月5日	全職員	【乳腺科講演会】	- 名
	10月6日	全職員	【呼吸器内科講演会】	23 名
	10月6日	全職員	【循環器内科講演会】第1回循環器内科講演会	- 名
	10月12日	全職員	【循環器内科講演会】	- 名
	10月18日	全職員	【心療内科・精神科】Migraine National Web～精神疾患と偏頭痛～	- 名
	10月20日	全職員	【麻酔科講演会】	- 名
	11月7日	全職員	【腫瘍内科講演会】がんゲノムWEB Forum in Boso	- 名
	11月8日	全職員	【呼吸器内科講演会】	- 名
	11月8日	全職員	【腫瘍内科講演会】Web Seminar 南房総 BTC・HCCセミナー-2023	- 名
	11月14日	全職員	【糖尿病内分泌内科講演会】Kowa Web Conference	- 名
	12月13日	全職員	【リウマチ膠原病アレルギー内科講演会】	- 名
	12月21日	全職員	【呼吸器内科講演会】	- 名
	12月28日	全職員	【臨床病理科講演会】	18 名
	1月5日	全職員	【循環器内科講演会】第2回循環器内科講演会	13 名

令和5年度 地域医療従事者に対する研修・講習状況

②	2月9日	全職員	【循環器内科講演会】第3回循環器内科講演会	- 名
	2月29日	全職員	【腫瘍内科講演会】Endometrial Cancer Web Seminar in 鶴川	- 名
	3月12日	全職員	【脳神経内科講演会】	- 名
	3月21日	全職員	【乳腺科講演会】	- 名
	3月22日	全職員	【疼痛・緩和ケア科講演会】Pain Live Symposium	- 名

小 計 189 名

臨床・神経病理ジョイントカンファレンス

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
③	4月22日	医師/その他	繰り返す幻視と抑うつ症状で84歳で発症し、経過二年で転倒、骨折、肺炎により死亡した女性例 (GLOBAL NEURO CPCの今月例)	10 名
	5月20日	医師/その他	心室頻拍で突然死した進行性核上性麻痺の72歳男性例	7 名
	6月17日	医師/その他	精神発達遅滞と脊髄小脳変性症の疑いで長期フォローアップ中に腎盂腎炎から敗血症に至り死亡した76歳の女性例(N1851)	9 名
	7月15日	医師/その他	高度の認知機能障害があり、心不全で死亡した82歳女性例 (N1853)	7 名
	8月19日	医師/その他	2型糖尿病病教育入院中に窒息による心肺停止状態に陥り、原因としてコリン作動性クレーゼと神経変性疾患が疑われた62歳男性例(N1840)	8 名
	9月30日	医師/その他	子宮体癌加療中に右M1狭窄からの脳梗塞を4回繰り返し、ADL低下し、体癌の経過により死亡した75歳女性例(N1866)	9 名
	10月28日	医師/その他	眼神経領域の帯状疱疹で入院加療中に両肩の不随意運動と両上肢の筋萎縮、線維束性攣縮を認め、肺炎で死亡した95歳男性例(N1868)	10 名
	11月4日	医師/その他	レビー小体型認知症の背景病理 -アルツハイマー病との共通点と相違点	6 名
	12月16日	医師/その他	TDP43の発見と神経変性への新たな展開	6 名
	1月20日	医師/その他	"FTDP-17類似の3+4R tauopathy"の症例検討	8 名
	2月17日	医師/その他	プリオン病について	7 名
	3月30日	医師/その他	眼神経領域の帯状疱疹で入院加療中に両肩の不随意運動と両上肢の筋萎縮、線維束性攣縮を認め、肺炎で死亡した95歳男性例	8 名

小 計 95 名

看護教育研修

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
④	2023年6月21日～2024年3月6日の期間で10回開催	看護管理者	「看護管理コース」 1. 看護専門職として必要な管理に関する知識・技術・態度を学ぶ 2. 理論と実践を統合し、問題解決の実践を行うことで、前向きな思考を身につける 3. 看護を提供するための組織並びにその一端を担うために必要な知識・技術・態度を学ぶ	11 名
	2023年6月30日～2024年3月1日の期間で9回開催	看護スタッフ	「看護教育コース」 1. 看護教育を行う上で必要な知識・技術・態度を学ぶ 2. 自己の教育実践評価を通し教育能力向上に努める	22 名
	2023年5月24日～8月23日の期間7回開催	看護スタッフ	感染管理コース（初級） 感染予防に関する専門的な知識、技術、態度を習得し、所属する病棟において感染管理のロールモデルを担うことができる看護師の育成	32 名
	2023年6月27日～7月27日	看護スタッフ	糖尿病看護コース 糖尿病疾患、看護の理解を深め、病棟・外来での患者ケアに役立てる	30 名
	2023年7月1日	看護スタッフ	フィジカルアセスメント（肺・胸郭・循環） 1. 演習を主とした肺・胸郭・循環のフィジカルアセスメントを習得する 2. 今後、スタッフに指導する	17 名

令和5年度 地域医療従事者に対する研修・講習状況

④	2023年7月20日	看護補助者	接遇（技術） 1. 一般的接遇技術と多くみられるトラブルとその回避方法 2. クレーム発生時の初期対応について 3. 接遇の基礎について（言葉遣い）	7 名
	2023年8月5日	看護スタッフ	フィジカルアセスメント（脳神経・腹部） 1. 演習を主とした脳神経・腹部のフィジカルアセスメントを修得する 2. 今後、スタッフに指導する	16 名
	2023年8月24日 11月21日	看護スタッフ	「急変予防（応用編）～もう夜勤は怖くない自信が持てるMET-JR～」 1. チームのリーダーとして生命の危機を予防するための 2. 知識と対応能力を高め、スタッフへ指導する	83 名
	2023年9月12日	看護スタッフ	「意思決定支援」 1. 患者・家族の意思決定を支えるための基礎的知識を学ぶ 2. アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について理解する	11 名
	2023年11月13日・14日	看護スタッフ	脳卒中リハビリテーションコース 脳卒中の患者様の看護に生かすことが出来る	9 名
	2023年12月8日	看護補助者	認知症の人への関わり 1. 認知症とは何かを知る 2. 認知症の人への関わりを知る 認知機能の低下した対象者への基本的な関わり方の知識と技術を知り現場実践につなげる	15 名

小 計 253 名

地域リハビリテーション支援推進研修会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑤	9月15日	地域の医療福祉介護従事者等	安房地域リハ講座「地域リハビリテーションについて」	15 名
	11月3日	地域の医療福祉介護従事者等	南房総リハビリテーション・ケア文化祭	299 名
	12月14日	曳田グループの医療福祉介護職	リフト体験会	20 名
	3月28日	地域の医療福祉介護従事者等	安房地域リハ講座「ノーリフトケア研修」	55 名
	3月29日	地域の施設職員	移乗動作介助研修会	6 名

小 計 395 名

高次脳機能障害支援普及事業研修会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑥	4月15日	一般・医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10 名
	5月20日	一般・医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10 名
	6月18日	一般・医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10 名
	7月15日	一般・医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10 名
	9月16日	一般・医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	15 名
	10月21日	一般・医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10 名
	11月18日	一般・医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	15 名
	12月16日	一般・医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10 名
	3月16日	一般・医療・介護・福祉従事者	南房総高次脳機能障害家族と支援者の会	10 名

小 計 100 名

感染教育学術講演会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑦	2023年7月25日～2024年3月11日 e-ラーニング	医療従事者	2023年度第1回感染対策教育講演会 「新型コロナウイルス感染症5 類への移行で変わること＆変わらないこと」 「新型コロナウイルスに対する抗ウイルス薬の投与」	名
	2023年10月10日～2024年3月11日 e-ラーニング	医療従事者	2023年度第2回感染対策教育講演会 「薬剤耐性菌を産まない抗菌薬の使い方」 「薬剤耐性菌の感染対策」	名

令和5年度 地域医療従事者に対する研修・講習状況

⑦	2023年5月8日～8月7日 全7回	医療従事者	2023年度感染予防基礎コース	3 名
	2023年10月1日～2024年3月4日 全6回	医療従事者	2023年度感染予防中級コース	2 名
	2023年6月27日	医療従事者	感染対策向上加算1-2連携 第45回合同カンファレンス ミニレクチャー「亀田メディカルセンター新型コロナウイルス感染対策」	24 名
	2023年8月22日	医療従事者	感染対策向上加算1-2連携 第46回合同カンファレンス ミニレクチャー「微生物検査の検体採取と輸送・保存について」	22 名
	2023年11月28日	医療従事者	感染対策向上加算1-2連携 第47回合同カンファレンス ミニレクチャー「消毒薬の適正使用」	22 名
	2024年1月23日	医療従事者	感染対策向上加算1-2連携 第48回合同カンファレンス ミニレクチャー「ソーニングの確認とPPEの着脱について」	20 名
小 計				93 名

がん看護勉強会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑧	6月23日	看護師	がん看護コミュニケーションコース研修1	17 名
	7月7日	看護師	がん看護コミュニケーションコース研修2	17 名
	11月24日	看護師	がん看護基礎コース研修1	30 名
	12月1日	看護師	がん看護基礎コース研修2	30 名
小 計				94 名

緩和ケア研修会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑨	4月8日	医療従事者	緩和ケア研修会－集合研修	26 名
小 計				26 名

終末期看護研修会

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑩	10月28日	看護師	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム1	13 名
	11月4日	看護師	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム2	12 名
小 計				25 名

講演会（がん）

	開催日	受講対象	研修内容	参加者数
⑪	7月5日	医療従事者	ユマニテード実演・講演会	87 名
小 計				87 名

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
旧2号館研修室	112.41 m ²	(主な設備) ①ビデオデッキ ②レーザーホインター ③マイク&スピーカー ④プロジェクター(PC/ビデオ) ⑤スクリーン1台 ⑥PC 端末2台 ⑦心肺蘇生用人形 成人—9体 上半身2体 小児—10体 乳児—10体 ⑧AED—7台
旧2号館講義室	74.94 m ²	(主な設備) ①ビデオデッキ ②レーザーホインター ③マイク&スピーカー ④プロジェクター(PC/ビデオ) ⑤スクリーン1台 ⑥PC 端末2台 ⑦心肺蘇生用人形 成人—9体 上半身2体 小児—10体 乳児—10体 ⑧AED—7台
研修棟2階研修室	109.51 m ²	(主な設備) ①プロジェクター(PC/ビデオ) ②レーザーホインター ③マイク&スピーカー ④スクリーン ⑤PC 端末1台
K棟5階 CSSセンター	300 m ²	(主な設備) ※別紙参照
K棟12階会議室	104.27 m ²	(主な設備) ①スクリーン ②PCプロジェクター ③CDプレーヤー ④MDプレーヤー ⑤DVDプレーヤー ⑥ビデオデッキ ⑦OHP(普通紙対応) ⑧マイク
K棟13階ライオンホール	189.24 m ²	(主な設備) ①スクリーン ②PCプロジェクター ③CDプレーヤー ④MDプレーヤー ⑤DVDプレーヤー ⑥ビデオデッキ ⑦OHP(普通紙対応) ⑧マイク ⑨有線 ⑩web カメラ
A棟9階 会議室1・2	29.98 m ² 23.51 m ²	(主な設備) ①スクリーン ②PCプロジェクター ③DVDプレーヤー ④音響設備

K棟5階 CSS センター (主な設備)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高機能シミュレータ ・気管支鏡トレーナ ・気管挿管訓練モデル ・フィジカルアセスメントモデル フィジコ ・呼吸音聴診シミュレータ ・採血静注シミュレータ ・手背の静注シミュレータ ・装着式 上腕筋肉注射シミュレータ ・殿筋注射2ウェイモデル ・吸引シミュレータ ・男性導尿・清拭モデル ・女性導尿・浣腸トレーニングモデル ・内視鏡下手術トレーニングセット ・中心静脈カテーテル挿入シミュレータ ・手術用顕微鏡 ・万能型成人実習モデル さくら ・胸部診察トレーニングシステム イチロー ・点滴・採血トレーナ ・腕部付中心静脈挿管シミュレータ ・内視鏡用スコープ ・動脈採血シミュレータ ・CVC 穿刺挿入シミュレータ II ・点滴・採血トレーナ ・末梢挿入中心静脈カテーテル
PICC シミュレータ ・腰椎・硬膜外穿刺シミュレータ
“ルンバールくんII” ・気道管理トレーナ ・アンプマン・アドバンス (ACLS) ・アンプマン・ベーシック (BLS) ・Sherpa-PLUS CPR マネキン | <ul style="list-style-type: none"> ・乳児気道管理トレーナ ・新生児気道管理トレーナ ・エアシムジュニア ・未熟児モデル (男) ・未熟児モデル (女) ・喉頭鏡セット ・DVD 視聴覚教材 ・小児の手背静脈注射シミュレータ ・超音波診断ファントム上腹部病変付モデル【ABDFAN】 ・ポータブルエコー ・教育用聴診器 ・ポータブル吸引器 ・超音波診断ファントム上腹部術中モデル
【IOUSFAN】 ・ALS シミュレータ ・レサシジュニア ・レサシベビー ・Neonatal Resuscitation Baby ・気道管理トレーナ (新) ・気管支樹モデル ・レールダルサクションユニット ・レールダルシリコンレサシテータ ・内視鏡光学視管スコープ ・MATT トレーナ (ベーシック) ・心臓超音波トレーニングシミュレータ
ハートワークス ・A-LAP MINI (採点型縫合訓練シミュレータ) ・褥瘡ケアシミュレーター ・汎用超音波画像診断装置 Vscan Air CL |
|--|---|

(様式例第6) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	■■■■■■■■■■
管理担当者氏名	医療情報管理室 ■■■■■■■■■■ (診療情報管理士)

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報管理室	中央保管 (一元連番方式)
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	救命救急業務課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	研究研修部	
	閲覧実績	医療情報管理室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第7) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	医療情報管理室 室長
閲覧の求めに応じる場所	カスタマーサービス部（Kタワー1階）
閲覧の手続の概要	・ 公的機関からの依頼については、医療情報管理室にて受付け、対応する。その他については、カスタマーサービス部にて受付け、医療情報管理室にて対応する。

前年度の総閲覧件数		5, 1 2 1 件
閲 覧 者 別	医師	(医師を含む医療機関) 1 4 1 件
	歯科医師	個人 4, 6 8 0 件
	地方公共団体	(公的機関含む) 2 6 5 件
	その他	3 5 件

(様式例第8) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2 回	
委員会における議論の概要		
第1回：令和5年6月2日(金)		
【概要】		
令和4年度事業報告		
①共同利用について		
共同利用の推進実績について		
②救急医療の提供実績について		
③地域医療従事者に対する研修・講習状況について		
各種研修会開催の実績と内容について		
④患者様に対する相談実績について		
⑤診療情報の開示実績について		
⑥電子カルテの閲覧について		
令和5年度計画について		
①共同利用について		
地域医療連携室より働きかけ		
②医療従事者研修について		
研修内容の要望		
③その他（院内状況説明）		
・D棟解体について		
・発熱外来、新棟（プレハブ）建設について		
・治験事務局、被験者相談室、仮眠室について		
・災害に対する訓練及び教育の実施について		
第2回：令和6年2月16日(金)		
【概要】		
令和5年度計画の実施状況について		
①共同利用について（現状報告）		
地域医療連携室より働きかけ		
②医療従事者研修について（現状報告）		
③その他（院内状況説明）		
・D棟解体について		
・医療廃棄物倉庫（プレハブ）の新設について		
・ドクターオフィスの構造変更について		
・災害に対する訓練及び教育の実施状況について		
地震・津波想定訓練（地震発生、施設確認、患者対応、避難者受入、フレスト担架 搬送、被害状況報告書作成）、災害対策本部訓練（事業継続の為の本部訓練、帰宅 困難者受入対応）、火災想定訓練（火災感知器作動、火元特定、初期消火、通報、避難 誘導、消火器・消火栓訓練）、搬送訓練（フレスト担架使用による垂直・水平搬送）、 防災訓練（火災想定総合訓練、消火器・消火栓訓練）		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第9) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・カスタマーコンタクトセンター
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医師、ソーシャルワーカー、看護師、ケアマネージャー、 カスタマーコンタクトセンター相談員
患者相談件数	(総合相談室) 4,029 件 (カスタマーコンタクトセンター) 1,107 件 合計 5,136 件
患者相談の概要	
※別紙参照	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

地域医療支援部 総合相談室

総合相談室はソーシャルワーカー(以下、SW)とケアマネジャー、退院支援看護師(以下、退院支援Ns)が協働する部署である。当室のケアマネジャー・退院支援Nsにはベテラン看護師(以下Ns)も配属され、多職種混合で各専門職の視点を活かすことを特徴としている。K棟玄関すぐ右手のカウンターの後ろにある地域医療支援部の広いオフィスには、総合相談室の他、訪問診療、訪問看護、訪問栄養士、訪問リハビリ、地域医療連携室、亀田産業ホームケアサービスの訪問介護員とケアマネジャーらが席を共にし、朝には約70人が顔を合わせる。当居宅介護支援事業所は特定事業所の認可を受け、病院からの重介護者を多く受け持っている。

2023年度の特記

前年に引き続き、COVID-19の影響が残った。引き続き日々の業務や生活においても、感染しない、感染させないことを心がけ予防策を徹底した。

とりわけ2023年度は、スタッフのライフワークの1つとして産休、育休を取得するスタッフが重なったため、多忙により業務配分の見直しや精神衛生面にも意識する年となった。

スタッフ

ソーシャルワーカー 17名 (精神保健福祉士4名、亀田リハビリテーション病院2名を含む)

ケアマネジャー 10名 (看護師3名、社会福祉士3名、介護福祉士2名、ヘルパー2名)

退院支援看護師 5名

地域へのアプローチ

- ・地域訪問：地域医療連携室と協働で病院等への訪問を15件した。精神科2病院とリモートで病院間連携会議も行った。院外の訪問看護ステーションへの訪問は自粛した。
- ・地域のベッド状況の把握：毎週水曜に20件の近隣の一般病院・地域包括病棟・療養型病院等に電話し、空床状況を聴取した。COVID-19の感染状況や病棟閉鎖・再開情報、面会禁止情報等々を情報交換した。まだまだCOVID-19は病床運用に大きな影響を及ぼしていた。

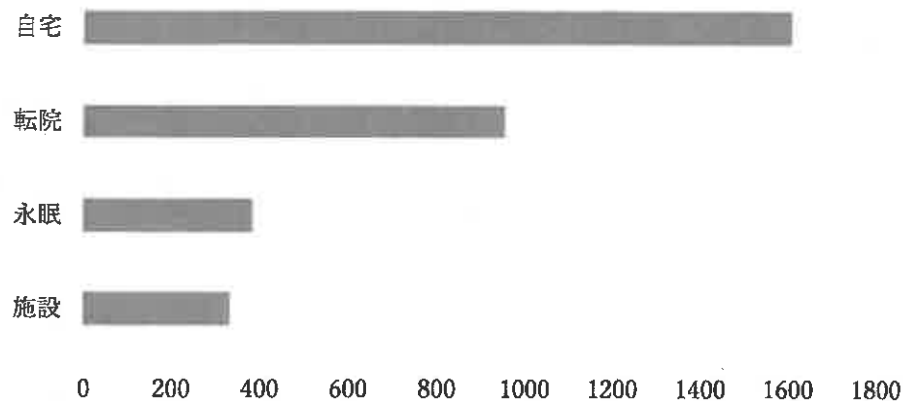
業務統計

2023年度、総合相談室が関わったケースは再介入を含めると4029件(2022年度3919件、以下同様)だった。うち、外来は835(904)件、入院は3053(2947)件、受診歴のなしは141(140)件だった。亀田リハビリ病院は294(303)件、受けていた。

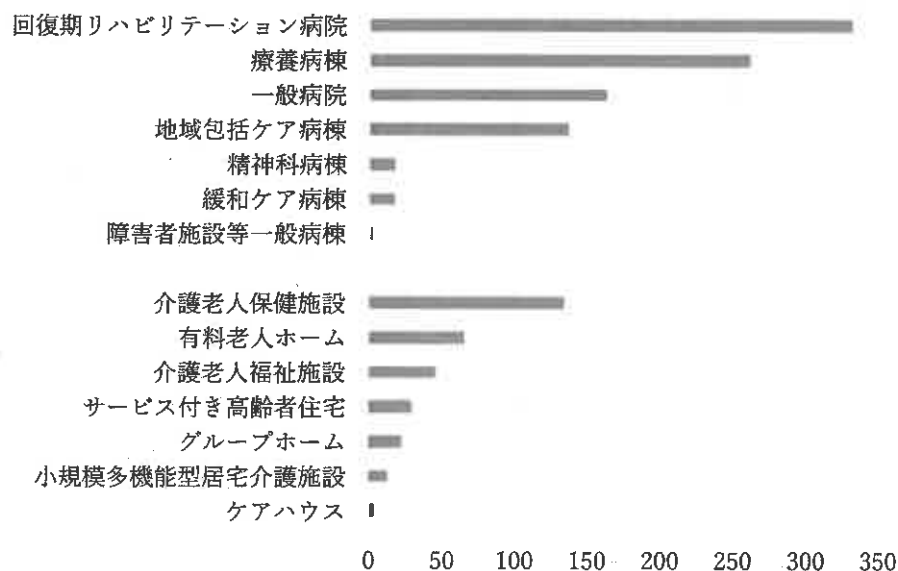
総合相談室が関与した退院数(亀田リハビリ病院含む)は3304(3252)件だった。病院全退院数の15%(15%)に関わっていた。転帰先は自宅が1611(1593)件、病院へは957(888)件、施設へ336(332)件であった。自宅退院のうち訪問看護や訪問診療へ繋いだのは253(336)件であった。一般病院へは226(157)件、療養型病院は262(247)件、包括ケア病棟は137(124)件、回復期リハビリ病棟へは332(305)件で、うち、亀田リハビリ病院へは229(238)件ほど転院した。施設は老健施設が多いが、薬価等の関係でサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームが増加している。当院から転院や施設入所は、近隣から遠方まで、それぞれ100か所以上の多岐にわたっている。死亡は385(388)件だった。

在宅医療関係も、訪問看護ステーションや在宅クリニック等、それぞれ40か所以上の様々な機関に繋ぎ、自宅での療養生活を引き続き医療面から支えて頂いた。

2023年度 転帰先



2023年度 転院・施設入所



* P S W（精神科ソーシャルワーカー）の業務

4名のP S Wが、当クリニックや救急外来受診の患者さま、当院精神科病棟や身体科病棟で合併症のある患者さまを対象に相談や依頼に応じた。合併症治療に関しては特に、精神科リエゾンチームの一員として活動し、総合病院としての機能を更に活かしてもらうべく、近隣の精神科病院との間で円滑な連携体制を築くことに努めてきた。

一方、早期退院の為に地域援助者を交えたカンファレンスを積極的に開催している。退院後の再発・悪化の予防や早期介入を目的とした精神科訪問看護指導を実施した。地域の関係者とのケース会議も行っている。

中核地域生活支援センターひだまりとP S W交換研修は2022年11月から再開し、その後も活発な連携を行っている。地域と病院のお互いの特徴を理解し、近い将来、地域を包括した支援を構築したいと考えている。

また、新設事業として、当院のアルコール使用障害を抱える患者様に対する治療プログラムを創設した。院内多職種で協働して企画・運営を行っている。

〈病院内〉

- ・精神科訪問看護：Ns と共に実施：19 件
- ・退院前訪問指導：1 件
- ・リエゾン回診／カンファレンス：医師、看護師及び臨床心理士と共に参加（毎週水曜日）
- ・精神科病棟プログラム（入院生活技能訓練）（隔週毎に 4 回程度× 2 クール）
- ・アルコール使用障害の患者回復プログラム（2023 年 10 月～2024 年 3 月 第 2・4 土曜日）
- ・行動制限最小化委員会：医師、看護師及び臨床心理士と共に参加（毎月 1 回）

〈病院外〉

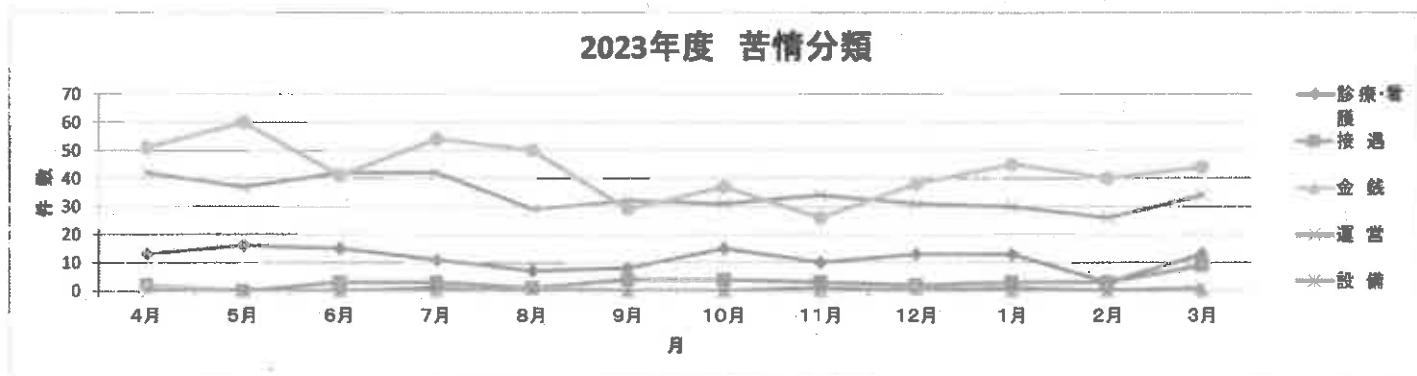
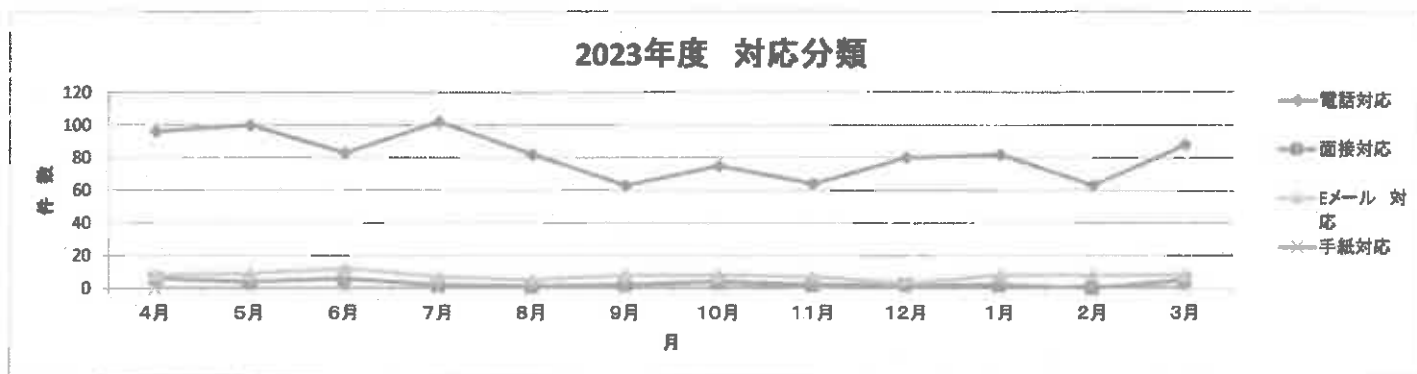
- ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム実務者会議：安房地域／夷隅地域（毎月～2 月に 1 回）
- ・安房地域心の健康のつどい実行委員会（毎月）
- ・その他：鴨川地域精神障害者家族会オレンジ会への支援（毎月 1 回）

その他の活動

がん相談支援センター、安房地域難病相談支援センター、ノーマリゼーションセンター（当院の障害者雇用）も担っており、亀田病院に通う患者さま以外の方々への支援も行っている。

2023年度
カスタマーコンタクトセンターへの苦情・相談件数

対応分類	項目\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積件数
	電話対応	96	100	83	102	82	63	75	64	80	82	63	88	978
	面接対応	6	4	6	2	1	2	4	2	2	2	0	5	36
	Eメール 対応	8	9	12	7	5	8	8	7	3	8	8	8	91
	手紙対応	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	総 数	110	113	101	111	88	73	87	74	85	92	72	101	1107
苦情分類	項目\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累積件数
	診療・看護	13	16	15	11	7	8	15	10	13	13	3	13	137
	接 遇	2	0	3	3	1	4	4	3	2	3	3	9	37
	金 銭	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4
	運 営	42	37	42	42	29	32	31	34	31	30	26	34	410
	設 備	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	4
	その他	51	60	41	54	50	29	37	26	38	45	40	44	515
	総 数	110	113	101	111	88	73	87	74	85	92	72	101	1107



2023年度苦情相談件数内訳

